

JIS

造船用語－航海機器－レーダー

JIS F 0036 : 2008

(JSTRA)

平成 20 年 3 月 31 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	二 瓶 好 正	東京理科大学
(委員)	飯 塚 悦 功	東京大学
	大 山 永 昭	東京工業大学
	小 野 晃	独立行政法人産業技術総合研究所
	菊 地 眞	防衛医科大学校
	佐 野 真理子	主婦連合会
	塩 沢 文 朗	財団法人日本規格協会
	菅 原 進 一	東京理科大学
	田 中 信 義	キヤノン株式会社
	富 田 育 男	社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	中 西 英 夫	社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	長谷川 英 一	社団法人電子情報産業協会
	樋 口 世喜夫	社団法人自動車技術会
	前 原 郷 治	社団法人日本鉄鋼連盟
	宮 入 裕 夫	東京電機大学
	宮 沢 和 男	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
	矢 萩 強 志	財団法人日本船舶技術研究協会
	若 井 博 雄	財団法人製品安全協会

主 務 大 臣：国土交通大臣 制定：昭和 57.2.1 改正：平成 20.3.31

官 報 公 示：平成 20.3.31

原 案 作 成 者：財団法人日本船舶技術研究協会

(〒105-0003 東京都港区西新橋 1-7-2 虎の門高木ビル TEL 03-3502-2130)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者、国土交通省海事局 船用工業課 [〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 TEL 03-5253-8111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 分類	1
3 用語及び定義	1
3.1 一般	1
3.2 レーダーの性能	2
3.3 レーダー機器	3
3.4 プロットング装置	6
3.5 レーダー反射器	7
3.6 捜索救助用レーダー・トランスポンダー	7
解 説	9
索 引	12

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、財団法人日本船舶技術研究協会(JSTRA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、国土交通大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS F 0036:1994** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。国土交通大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

造船用語－航海機器－レーダー

Shipbuilding－Navigational instruments－Radar－Vocabulary

1 適用範囲

この規格は、レーダーに関する用語及び定義について規定する。

2 分類

この規格の分類は、次による。

- a) 一般
- b) レーダーの性能
- c) レーダー機器
- d) プロットイング装置
- e) レーダー反射器
- f) 搜索救助用レーダー・トランスポンダー

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

なお、慣用語及び対応英語を参考として示す。

3.1 一般

番号	用語	定義	参考	
			慣用語	対応英語
101	Xバンドレーダー	送信周波数9 GHz帯の電波を利用するレーダー。		X-band radar
102	Sバンドレーダー	送信周波数3 GHz帯の電波を利用するレーダー。		S-band radar
103	カラーレーダー	カラー表示を用いたレーダー。		colour radar
104	エコー	レーダー電波の物標からの反射信号。		echo
105	偽像	レーダー表示面に現れる実在しない物標の映像。		false image, false echo
106	多重反射	レーダー波が物標間を複数回反射を繰り返す現象。 注記 偽像を生じる原因の一つである。		multi reflection
107	メインローブ	アンテナの主方向に放射される電力。		main lobe
108	サイドローブ	アンテナの主方向以外に放射される電力。		side lobe
109	プロットイング	物標の進行方向及び速度を知るために、物標の位置を表示面などに表すもの。		plotting
110	アスペクトアングル	他船の船首方向から自船を見る角度。 観測者から対象船を見たときの対象船の姿勢。 対象船の船首方向と通常、観測者視線とのなす右回り角度。	アスペクト	aspect angle